

2024-032

研究課題名	経口挿管チューブ抜管後における摂食嚥下機能障害に関する検討
実施責任者	所属・職名：リハビリテーション部
	氏名： 天白 陽介
研究の概要	集中治療室においては多くの重症患者様が経口挿管をされています。経口挿管チューブ抜管後の摂食嚥下機能障害は集中治療室における重要な合併症であり、機能予後のみならず、生命予後にも影響を及ぼします。経口挿管チューブ抜管後の摂食嚥下機能障害の原因を調査し、高リスクの患者様を把握することで、超早期からの円滑な摂食嚥下リハビリテーションの提供を可能とすることが本研究の目的です。
対象となる個人情報	・患者様の一般的。集中治療室における情報。経口挿管チューブ抜管後の初回摂食嚥下機能評価及び、集中治療室退出時、退出時の摂食嚥下機能。体格評価をカルテより後方視的に調査致します。
実施の期間	西暦 2023 年 9 月 1 日より
	西暦 2026 年 9 月 30 日まで
研究対象	当院にて48時間以上の経口挿管がなされ、言語聴覚士依頼のあった患者様